

平成 29 年 4 月 12 日

JMETS とニッスイマリン工業株式会社との間で 連携・技術協力協定書に調印

～ STCW 条約 2010 年マニラ改正完全施行の対応 ～

JMETS（海技教育機構）は、12 日横浜本部においてニッスイマリン工業株式会社（本社：北九州市戸畑区）と、STCW 条約マニラ改正第 6 章「基本訓練」（以下、基本訓練という。）の外部訓練機関として万全の体制を構築するため、連携・技術協力の協定を締結いたしました。基本訓練では、船舶という特殊環境で勤務するその職務の性質上、自身のみならず乗員・乗客の人命、さらには船体の安全確保を求められる全ての船員に対し、「船体放棄等の非常時における海上での最小限の生存能力」や「火災の危険を最小限にし、かつ火災を含む非常事態の即応体制を維持する能力」について、5 年毎に知識・理解及び能力の基準を維持していることを証明することを求められます。

ニッスイマリン工業は、あらゆる海洋産業の発展に貢献できる人材を育成するため 2011 年 4 月に日本初の本格的なサバイバルトレーニングセンターとして、日本サバイバルトレーニングセンター（以下、NSTC という。）を設立し、これまでに約 200 人の船員に「基本訓練」を提供した実績を持っています。

この度の協定締結により、JMETS と NSTC は基本訓練の実施に係る関係者の相互交流及び各種情報の共有を通して、基本訓練を安全、確実、かつ、効果的に提供していくことが可能になります。

また、私どもが提供する基本訓練の講習は、主官庁（国土交通省海事局）により実地訓練を実施できる外部訓練機関として確認を受ける予定で、関東地区、関西地区、九州地区の 3 箇所
で講習を提供していくこととしています。



◆問い合わせ先

独立行政法人海技教育機構 上級教育・研究国際部

担当：佐藤、関 045-211-7313

独立行政法人海技教育機構 〒231-0003 横浜市中区北仲通 5-57 横浜第 2 合同庁舎(20 階)

電話：045-211-7313 FAX：045-211-7317

E-mail：info-honbu@jmets.ac.jp URL：http://www.jmets.ac.jp/

● 講習内容の概要

(1) 個々の生存技術 (STCW コード A 部の表 A-6-1-1 関係)

船体放棄等の非常事態における個々の船員の生存技術として最小限有しておくべき能力として条約で規定されている次の訓練項目を行います。基本コースは、社内訓練では実施が難しいものだけに限定した内容とする一方、オプション付きのコースでは、表 A-6-1-1 のすべての項目を網羅する内容としています。

- ・救命胴衣を着用しないで安定して浮いていること
- ・救命胴衣を着用して高所から水中への安全な飛び込み
- ・水中から救命いかだに乗り組み、いかだの上で初期行動を行うこと 等
- ・オプション: イマーシヨンスーツを使用した訓練 等

〔訓練の様子〕



・救命胴衣を着用しない状態で安定して浮く(背浮き)



・救命胴衣を着用して高所から飛び込む



・水中での集団密集隊形



・水中での集団移動隊形



・反転した救命いかだの復正



・水中から救命いかだへの乗り込み

独立行政法人海技教育機構 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎(20階)

電話: 045-211-7313 FAX: 045-211-7317

E-mail: info-honbu@jmets.ac.jp URL: <http://www.jmets.ac.jp/>

(2) 防火と消火 (STCW コード A 部の表 A-6-1-2 関係)

船舶火災の危険を最小にし、火災を含む非常事態の即応体制を維持するために最小限有しておくべき船員の能力として条約で規定されている次の訓練項目を行います。基本コースは、社内訓練では実施が難しいものだけに限定した内容とする一方、オプション付きのコースでは、表 A-6-1-2 のすべての項目を網羅する内容としています。

- ・各種持運び式消火器(炭酸ガス、粉末、泡)による小規模火災の消火
- ・水噴射及び噴霧ノズルを用いた消火
- ・高発泡の泡が満ちた区画への進入 等
- ・オプション: 自蔵式呼吸具を使用した訓練 等

〔訓練の様子〕



・持運び式消火器による消火



・水噴射及び噴射ノズルを用いた消火

● 講習の実施場所、申込み方法等

(1) 実施場所と講習内容

実施場所		講習内容
関東地区	JAMSTEC敷地内(横須賀市)	・個々の生存技術
関西地区	尼崎スポーツの森(尼崎市)	・個々の生存技術
	海技大学敷地内(芦屋市)	・防火と消火
九州地区	日本サバイバルトレーニングセンター(北九州市)	・個々の生存技術 ・防火と消火

※場所が違っても講習内容は同じです。

(2) スケジュール

場所	実施日
JAMSTEC(個々の生存技術)	5月18日、19日、6月12日、14日、7月12日、8月10日以降、月1回程度で開催を計画中
尼崎スポーツの森(個々の生存技術)	6月以降、月1回程度で開催を計画中
海技大学(防火と消火)	6月以降、月1回程度で開催を計画中
日本サバイバルトレーニングセンター(個々の生存技術)(防火と消火) ※オプション付きコースのみ	5月8・9日、6月19・20日、7月18・19日、8月17・18日、9月25・26日、10月17・18日、11月27・28日、12月18・19日 2018年 1月15・16日、2月5・6日、3月12・13日

(3) 受講料、申込方法

- | | |
|--------------------|-------------|
| ・「個々の生存技術」 | 59,400円(税込) |
| ・「防火と消火」 | 59,400円(税込) |
| ・「個々の生存技術(オプション付)」 | 69,660円(税込) |
| ・「防火と消火(オプション付)」 | 79,920円(税込) |

JMETS海技大学校あて、FAXまたはメールで申し込みください。詳細については、当HP上で改めてご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。|

独立行政法人海技教育機構 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎(20階)

電話: 045-211-7313 FAX: 045-211-7317

E-mail: info-honbu@jmets.ac.jp URL: <http://www.jmets.ac.jp/>